

# JULI I SVERIGE

~ THE END OF THE JOURNEY ~

2014. 07. 21

ついにこの日が来てしまいました。

ここ数日は、お世話になったロータリーのカウンセラーや ROTEX、同じ地区の留学生にお別れを言って過ごしました。

今まで味わったことのない悲しい気持ちです。

一年でたくさんの強い絆が生まれ、たくさんの素晴らしい経験ができました。

---

長い人生を考えた時、一年は何でもないかもしれません。

でも時々、一年に重みを感じることもあります。

昨年日本を飛び立った時、まさか、この一年がこれほど自分にとって特別な年になるとは思っていませんでした。

この先もっと素晴らしいことを経験し、もっとたくさんの素晴らしい人に会うかもしれません。

けれど、今までの人生の中で、この一年は一番充実していて、一番輝いていました。

スウェーデンで会った人たちに、次に会う時はいつか分かりません。

# JULI I SVERIGE

時と共に人は変わり、環境は変わり、考え方も変わります。

しかし、また会ったその瞬間の繋がりは変わっていて欲しくないとは願っています。

将来がどうなっているかは誰にもわかりません。

けれど、留学を経験した一人ひとりが、この年のことを忘れないでいて欲しいです。

私たちの世代が一番世界を変える立ち位置について時、この思い出を皆が忘れないで持っていて欲しいです。

様々な方法で海外と繋がるのが簡単なこの時代、この機会を逃さずに、今は世界中にいる仲間たちと絶えず連絡を取り合っていきたいです。

留学の目的、それぞれがいる環境は全く違いました。

高校の途中で留学した人。大学に行く前の一年を留学することにした人。帰国したら働き始める人。留学先が気に入った人。あまり留学先で受け入れられなかった人。母国での生活に満足していない人。

ニュースを見る時、授業で地図帳を開く時、地名を見るといつも鮮明にその出身の人のことを思います。

# JULI I SVERIGE

ロータリーの皆様、学校関係者の方々、留学中お世話になった皆様、  
本当にありがとうございました。

そして、帰国後も今までと変わりなく接してくれている雙葉の友達に感謝しています。



*Tack så mycket!*

最後まで日記を読んでもくださった皆さん、ありがとうございました。

清野夏海